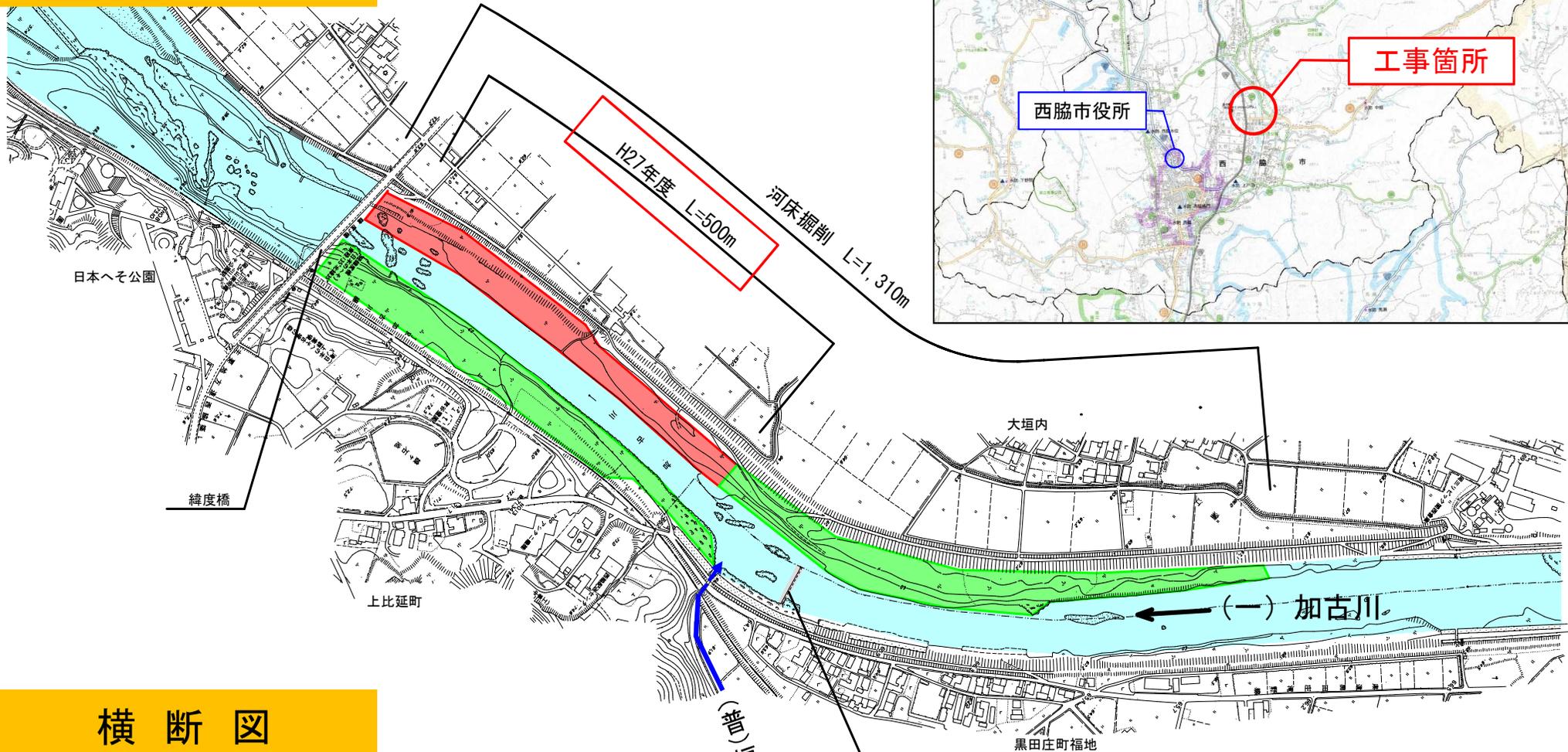
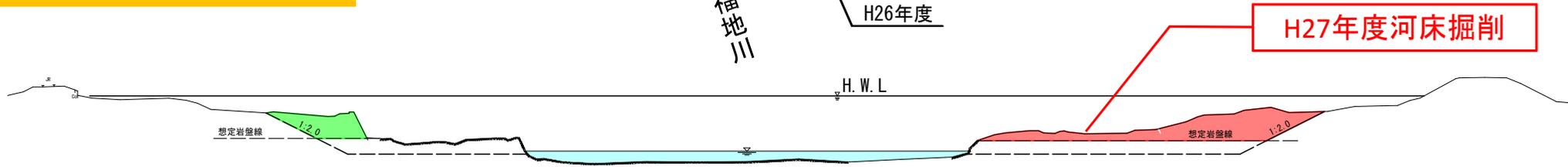


(一)加古川(西脇市黒田庄町福地) 河床掘削

平面図

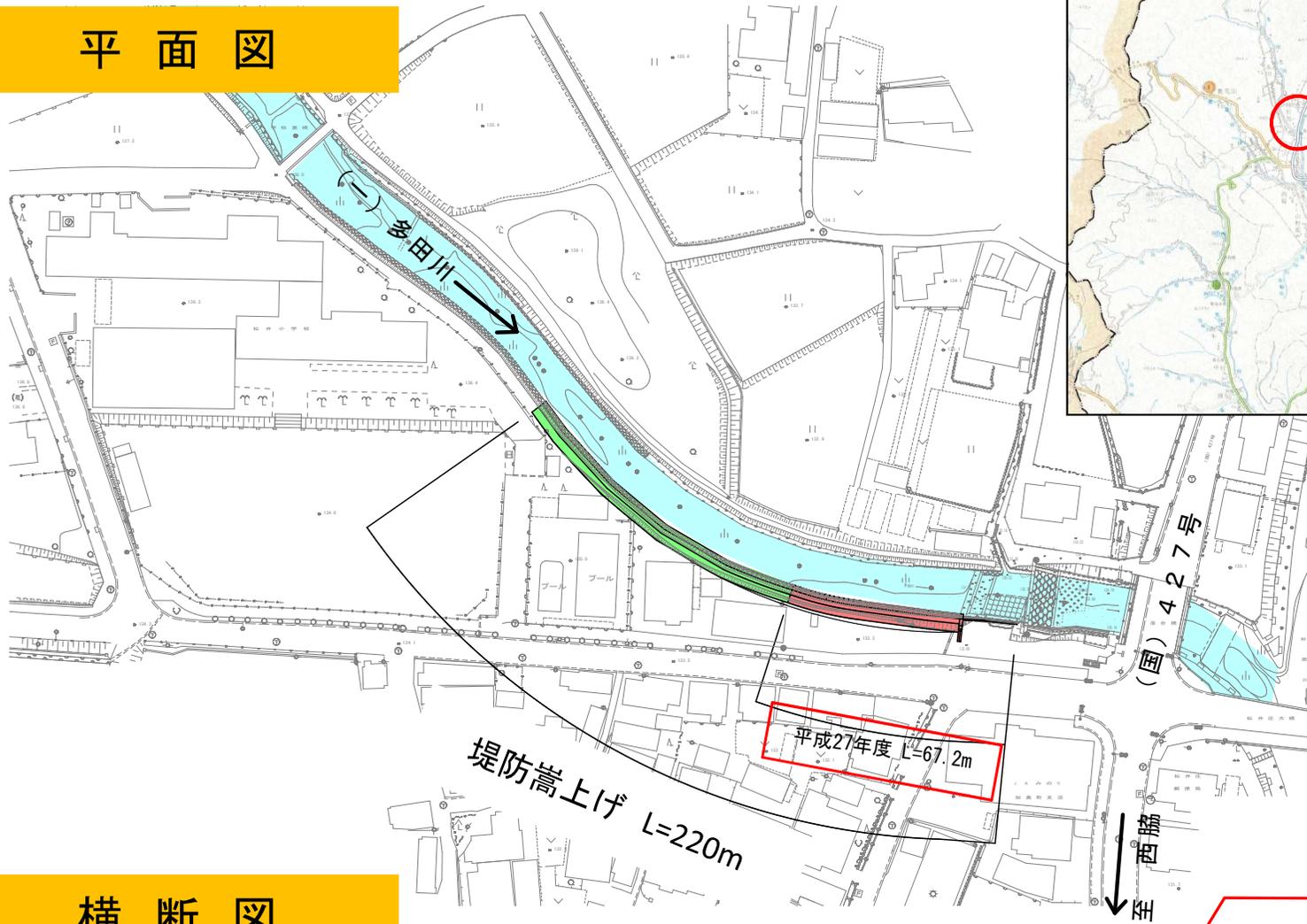


横断図

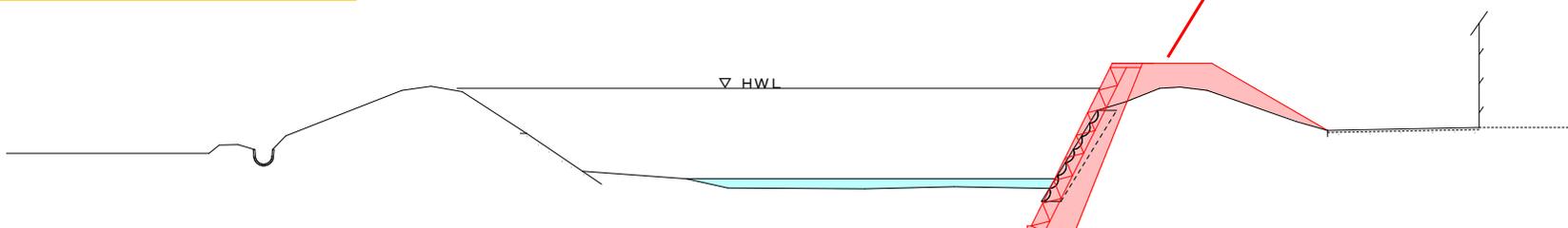


(一) 多田川(多可町加美区寺内) 堤防嵩上げ

平面図



横断図



モデル地区以外での取組

① 播磨中央公園での取組

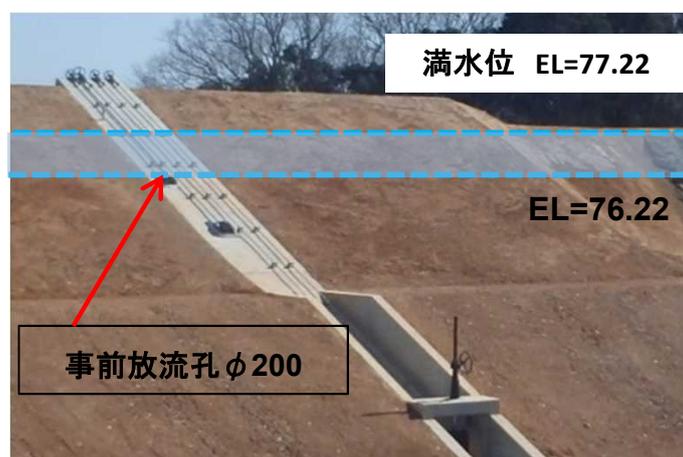
播磨中央公園内にある修景池での雨水貯留について設計に着手



② 北播磨の安心安全のため池プロジェクトの実施

ため池の改修にあわせ、事前放流施設等の設置。

(右)加東市天神池では、ため池の水量をため池管理者の操作により満水位下1.0mの水位まで下げることができる事前放流孔φ200を設置。



③ 神戸総合治水フォーラムの開催

開催日：平成27年9月13日(日)

参加者：182名

内容：総合治水について

神戸大学名誉教授による基調講演
手作りハザードマップの作り方



④ 庁舎に雨水貯留タンクを設置

- 社総合庁舎および三木庁舎に家庭用雨水貯留タンクを設置
- 容量約200ℓ(一般的な家庭用サイズ)
- 総合治水のPRを記載



西脇市立日野小学校で実施した出前講座について

豪雨にそなえよう！ジオラマ模型やクイズで伝える「総合治水の出前講座」の開催 ～子どもたちにも知って欲しい 身近な総合治水の取り組み～

兵庫県では、総合治水条例を制定し、市町や県民とともに「ながす」「ためる」「そなえる」を柱とした『総合治水』を推進しています。

総合治水の推進を図るため、毎年5月15日（金）から21日（木）までを「総合治水週間」と定め、行事や周知活動を展開しておりますが、今年度の行事として、西脇市立日野小学校において、授業の一環としてジオラマ模型やクイズで伝える「総合治水の出前講座」を県・西脇市が共同で開催しました。

記

- 趣旨** ジオラマ模型を用いた実験を行い、整備された校庭貯留など身近に水をためる施設が、大雨における浸水の軽減につながることを実感してもらう。また、雨や洪水に関するクイズを行い、どうすればまちを水害から守ることができるか子どもたちと一緒に考える。
- 日時** 平成27年5月15日（金）13:50～14:35 [5時間目]
- 場所** 西脇市立日野小学校（西脇市西田町62-1）
- 対象** 4年生（31人）
- タイムスケジュール**

時間	内容
13:50～13:52（2分）	挨拶
13:52～14:10（18分）	総合治水に関するクイズ形式学習
14:10～14:28（18分）	模型実験
14:28～14:30（2分）	総括および挨拶

※出前講座の様子

